

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 10日

事業所名 児童デイサービスポプラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		クールダウン出来る部屋(狭い部屋)がない為、必要時は部屋を離れて落ち着きやすいように配慮している	今後も継続を目指す
	2	職員の配置数は適切である	○		固定の職員配置と重心以外と重心の部屋の両方に入るフリースタッフで調整している	今後も継続を目指す
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		玄関前の段差に対してはスロープを設置している。階段の昇降時は手すりを使用するようにルール設定をしている	今後も継続を目指す
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		クールダウン出来る部屋(狭い部屋)がない為、必要時は部屋を離れて落ち着きやすいように配慮している	今後も継続を目指す
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日振り返る時間があり、記録用タブレットを入力することで、公休のスタッフも確認出来るようにしている	最近、導入した為、タブレットに慣れていないスタッフもいるので、全員が使えるように目指す
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの実施と保護者からの意向があった場合は話し合っており、業務改善に繋げている	保護者からの意向があった際は当日もしくは翌日に話し合い、迅速な対応を目指す
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	ホームページで公開していることを周知して貰えるようにアナウンスする
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	西宮連合会にて外部評価を行っている	外部評価を行い、指摘を受けた部分に関しては話し合い、改善案を考えるようにする
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOMなどの活用やパート職員には資料の提供などをして可能な範囲で多くのスタッフの参加を心掛けている	研修案内があった際はスタッフに公表し、参加漏れがないようにする
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎日の振り返りから分析して話し合い、計画を作成している	今後も継続を目指す
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	更新日を決めて定期的に更新するようにする
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		可能な範囲で具体的な支援内容を設定するようにしている	今後も継続を目指す
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		行っている	今後も継続を目指す
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心に定期的に会議を行い、固定化しないように努めている	今後も継続を目指す
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		保育士を中心に定期的に会議を行い、固定化しないように努めている	今後も継続を目指す
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		意識しながら作成している	今後も継続を目指す
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		平日は毎日ミーティングで確認し、長期休暇は日の流れを印刷し、全スタッフが持つようにしている	全体のミーティング終了後、重心・重心以外それぞれのミーティングを取り入れるようにする
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日に実施している。長期休暇中はタブレットに入力し、伝達を心掛けている	翌日が公休の場合はタブレットに入力し、申し伝え漏れがないように徹底する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		タブレットにて記録を行い、伝達事項も入力し、翌日のミーティングで話し合っている	今後も継続を目指す
関係機関や保護者	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っている	今後も継続を目指す
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		勤務調整を行い、児発管又は主任が参加している	今後も継続を目指す
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時に連携した支援を行っている	今後も継続を目指す
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		積極的にアウトリーチの活用を図っている。子ども未来センターなどとも連携している	今後も継続を目指す
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		遠方の主治医が多く、直接的なやり取りは難しいので、必要時は保護者を通して行っている	診療情報提供書を提出して頂くように契約時に伝えるようにする

有との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	幼稚園(保育園)が拒むケースがあり、難しい場合もある。就学前に支援会議がある場合は行っている	情報共有が必要な場合は保護者・幼稚園(保育園)と連携を取り適切に行えるように相談する
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	就学前に支援会議が開催された場合は情報共有出来ている	支援会議がない場合は保護者を通じて行えるようにする
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	未来センターや専門医師から受けている	今後も継続を目指す
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	西宮連合会にて情報収集出来ている	西宮連合会に毎回出席し、情報収集に努める
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	毎年、懇談を実施しており、LINE電話・ZOOMを取り入れたことにより、参加者も増えている	LINE電話・ZOOMでの懇談を今後も継続するように検討する
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に必ず行っている	保護者から質問などがあった場合は迅速な対応を行う
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	懇談時や送迎時に説明を行っている	今後も継続を目指す
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	希望があった際に助言・支援を行っている	必要時は専門職の介入を提案し、必要な支援が出来るようにする
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	担当者がきちんと説明できるように、窓口の周知や記録など再構築している	スタッフ間で話し合う時間を作り、周知出来るように努める
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	学期ごとに活動内容をまとめたものを配布している	毎日のブログ更新を今後も継続を目指す
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行っている	個人情報やコンプライアンスの研修の強化を行う
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	必要な環境設定を心掛けている	公的な機関をお知らせするシステムを作るように検討している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	施設内研修にて意識を高めている
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年6回実施している(各曜日を年に1回実施)	今後も継続を目指す
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	発作記入用紙を活用し、状況確認を行っている。用紙は年に1回更新をしている	今後も継続を目指す
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギー対応用紙を活用し、状況確認を行っている。用紙は年に1回更新をしている	今後も継続を目指す
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ファイルを作成し、共有出来ている	今後も継続を目指す
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年、虐待防止研修に多くの職員が参加出来る環境を作っている	今後も継続を目指す
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	原則、しないようにしている。身体拘束についても研修を開催し内容を把握出来るようにしている	今後も継続を目指す

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月10日

事業所名 児童デイサービスボプラ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		クールダウン出来る部屋(狭い部屋)がない為、必要時は部屋を離れて落ち着きやすいように配慮している	今後も継続を目指す
	2 職員の配置数は適切である	○		固定の職員配置と重心以外と重心の部屋の両方に入るフリースタッフで調整している	学校迎いの時間帯にスタッフの人数が少なくなる為、スタッフ間で声を掛け合い、必要な配置が取れるように意識するようにする
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関前の段差に対してはスロープを設置している。階段の昇降時は手すりを使用するようにルール設定をしている	階段昇降時のルールの理解が難しい児童もいる為、その都度説明するようにする
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日振り返り時間があり、記録用タブレットに入力することで、公休のスタッフも確認出来るようにしている	最近、導入した為、タブレットに慣れていないスタッフもいるので、全員が使えるように目指す
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの実施と保護者からの意向があった場合は話し合っており、業務改善に繋げている	保護者からの意向があった際は当日もしくは翌日に話し合い、迅速な対応を目指す
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	ホームページで公開していることを周知して貰えるようにアナウンスする
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	西宮連合会にて外部評価を行っている	外部評価を行い、指摘を受けた部分に関しては話し合い、改善案を考えるようにする
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOMなどの活用やパート職員には資料の提供などをして可能な範囲で多くのスタッフの参加を心掛けている	研修案内があった際はスタッフに公表し、参加漏れがないようにする
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎日の振り返りから分析して話し合い、計画を作成している	今後も継続を目指す
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している	更新日を決めて定期的に更新するようにする
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心に話し合っており決めている	パートスタッフの意見を取り入れられる方法を考えていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		保育士を中心に定期的に会議を行い、固定化しないように努めている	今後も継続を目指す
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		それぞれに応じて、事前に話し合っており決めた課題を設定して支援している	個別に応じた課題の設定を取り入れるように考える
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		意識しながら作成している	今後も継続を目指す
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		平日は毎日ミーティングで確認し、長期休暇は1日の流れを印刷し、全スタッフが持つようにしている	全体のミーティング終了後、重心・重心以外それぞれでのミーティングを取り入れるようにする
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日に実施している。長期休暇中はタブレットに入力し、伝達を心掛けている	翌日が公休の場合はタブレットに入力し、申し伝え漏れがないように徹底する
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		タブレットにて記録を行い、伝達事項も入力し、翌日のミーティングで話し合っている	今後も継続を目指す
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っている	今後も継続を目指す
その他	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		行っている	今後も継続を目指す
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		勤務調整を行い、児発管又は主任が参加している	今後も継続を目指す
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	学校側が拒否をされる場合もある為、全ての学校と情報共有は出来ていない。保護者を通して出来ている学校もある	情報共有が必要な場合は保護者・学校と連携を取り適切に行えるように相談する
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		遠方の主治医が多く、直接的なやり取りは難しいので、必要時は保護者を通して行っている	診療情報提供書を提出して頂くように契約時に伝えるようにする	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	幼稚園(保育園)が拒むケースがあり、難しい場合もある。就学前に支援会議がある場合は行っている	情報共有が必要な場合は保護者・幼稚園(保育園)と連携を取り適切に行えるように相談する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	支援会議で直接伝えており、ポプラの見学を提案している	見学に来て頂けるように積極的にアプローチするようにする
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	未来センターとの連携や専門医師から助言を受けている	今後も継続を目指す
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	開催予定など情報の把握が不足しているの で、積極的に情報を得るようにする	今後も継続を目指す
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	毎年、懇談を実施しており、LINE電話・ZOOMを取り入れたことにより、参加者も増えている	LINE電話・ZOOMでの懇談を今後も継続するように検討する
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に必ず行っている	保護者から質問などがあつた場合は迅速な対応を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	希望があつた際に助言・支援を行っている	必要時は専門職の介入を提案し、必要な支援が出来るようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	コロナ禍の為、実施出来ていない	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応している	○	担当者がきちんと説明できるように、窓口の周知や記録など再構築している	スタッフ間で話し合う時間を作り、周知出来るように努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	学期ごとに活動内容をまとめたものを配布している	毎日のブログ更新を今後も継続を目指す
	35	個人情報に十分注意している	○	契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行っている	個人情報やコンプライアンスの研修の強化を行う
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	必要な環境設定を心掛けている	公的な機関をお知らせするシステムを作るように検討している
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	コロナ禍の為、実施出来ていない		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	施設内研修にて意識を高めている	マニュアルをホームページに掲載する事を検討する
	39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年6回実施している(各曜日を年に1回実施)	今後も継続を目指す
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年、虐待防止研修に多くの職員が参加出来る環境を作っている	今後も継続を目指す
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	原則、しないようにしている。身体拘束についても研修を開催し内容を把握出来るようにしている	今後も継続を目指す
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギー対応用紙を活用し、状況確認を行っている。用紙は年に1回更新をしている	今後も継続を目指す
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ファイルを作成し、共有出来ている	今後も継続を目指す	